

学校だより

学校だより9月号
令和4年9月1日
発行者 外日角小学校
TEL 283-0040

「不易」と「流行」

校長 稲垣 一郎

学校は9月1日に2学期が始まり、子どもたちの笑顔と元気な声が校舎に戻り、活気に満ちたスタートを切りました。さて、どのように時代が変わっても、決してその価値が変わらないもの、私たちはこれを「不易」と呼んでいます。お祭りなどの伝統行事や文化は、まさに「不易」であるといえます。一方、「その時代の移り変わりとともに変えていく必要があるもの」を「流行」と呼んでいます。

それでは学校教育にとっての「不易」と「流行」はどのようなもののでしょうか。教育における「不易」とは、社会で生きる学力を付けさせること、豊かな人間性を育むこと、自分の身を守る力を付けさせること、つまり「知・徳・体」の力をバランスよく身に付けさせることだと私は考えます。同時に、教育は社会の変化に無関心であってはなりません。

「流行」に柔軟に対応していくことも教育に課せられた課題です。例えば、ICT教育や英語教育、アクティブ・ラーニングなどへの対応についても、更なる充実を図っていかねばなりません。つまり「流行」は「不易」を達成するための、社会の変化に合わせた手段といえます。

「不易と流行」という言葉は、松尾芭蕉の残した言葉とされています。「不易を知らざれば基立ちがたく、流行を知らざれば風新たならず」というものです。また芭蕉はこうも言っています。『不易と流行のその基は一つなり』。子どもたちを取り巻く環境が速いスピードで変化しています。外日角小学校の教職員一同で「不易」と「流行」を十分に見極めつつ、これをしっかり位置づけた教育活動を進めていきたいと考えています。今後とも学校の教育活動にご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

